

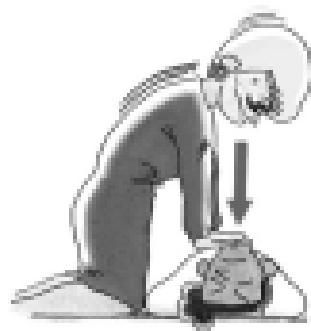
救急に消防車出動、救命へ救急車と連携

いざと言う時のために、消防署では多くの皆さんに応急手当を覚えていただくため、住民の方々並びに、各種団体、事業所等を対象にして講習会を行っています。

講習会の内容は、命にかかわる重要な手当の方法『心肺蘇生法・AED・止血法』や、日常のちょっとした怪我の手当の方法など、すぐその日から役にたつものです。ご希望がありましたら、お気軽に洞爺湖消防署洞爺支署までお問い合わせください。

また平成16年7月からだれでもAED（自動体外式除細動器）を使用できるようになりました。心停止した人に対しては、早期に心肺蘇生法とAEDを用いた電気ショック（除細動）を行うことが、救命率アップにつながります。西胆振消防組合のほかAEDを導入しているのは、豊浦町「天然豊浦温泉しおさい」、虻田町「ザ・ウィンザーホテル洞爺」、大滝村「フォーレスト276」の3ヶ所です。

各事業所など、いざと言う時、命を救うために備えてみませんか？



▲現在、医療器具として薬事法上の承認を得ているAED

洞爺消防団、消防庁長官表彰を受賞

西胆振消防組合洞爺消防団がこの程、総務省消防庁長官表彰『竿頭綬』を受賞しました。竿頭綬は災害の防御と消防力の強化につとめその成績は優秀であり、他の模範と認められる消防機関に対して行う表彰です。

洞爺消防団は大正5年私設消防組として始まり、昭和14年警防団に組織を変え、昭和23年現在の消防団になりました。地域の安全や防火活動に寄与し、長年にわたる消防団活動の功績が認められ、受賞となりました。

